

令和 7 年度 事業報告

1 はじめに

シルバー人材センターを取り巻く環境は大きく変化しています。消費税のインボイス制度、フリーランス法の施行に伴い、発注者と会員との契約を形式上直接契約に移行する作業を行い、会員の負担が増えないよう準備を完了しました。令和7年4月からの公益法人制度の変更に伴い、外部理事・外部監事に経営に参画してもらう体制を整備しました。また2年後を期限とした会計制度の変更に伴う財務諸表の書式見直しについて準備を開始しました。

事業面では、令和7年度末の会員数は589人で、前年度と比較して9名増となりました。定年延長や再雇用制度の普及で70歳以下の会員数が構造的に減少しています。平均年齢も76.8歳と高齢化が進んでいるので、組織運営や安全管理には一層の配慮を行いました。

契約件数は3,876件で昨年より280件の減、契約金額は239,844千円、就業実人数は514名でともに昨年度と同水準に留まりました。技能講習等の実施により、人手不足分野の会員の増強に努めましたが、ここ数年の東京都の最低賃金の上昇傾向を考えると、契約実績は実質的に減少傾向となりました。

組織活動としては、10月11日、「シルバーはむらふれあい祭り」を開催し、雨天にもかかわらず多くの親子連れでにぎわいました。11月1日・2日に開催された「はむら市民と産業のまつり」では、会員募集・仕事募集のPRチラシの配布を行うとともに、バルーンアートの実演と子供へのプレゼント、手芸・編物品の展示販売を行いました。さらに、東京しごと財団から会員増強キャンペーンの開催地に羽村市が指定され、12月10日「これからシルバー応援フェスタ」において活動紹介と会員募集を行いました。

地域班の活動としては、通学児童の見守り、6月と11月にボランティア清掃を実施しました。地域ボランティア活動の担い手は、コロナ禍以降減少傾向となっております。地域班班長等の担い手不足の解消と地域班活動の活性化を図るため、班長を中心とした班役員の具体的実務を明確化し、班役員の仕事内容を周知する支援などを行いました。

会員の自主活動については、写真・パソコン・カラオケ・フレイル予防体操等の既存のサークル活動に加え、健康マージャン教室といった新しい分野への活動の拡充を図りました。

今後のセンターの運営に大きな影響を与える事項として、「羽村市公共施設再配置構想」があります。検討されているたたき台では、センターは、高齢者の雇用機会の確保を使命として、現在の立地に留まる見込みとなっております。他方で、事業活動を行う組織として、施設の維持管理費の負担が新たに生じることが想定されます。会員に負担が及ばないよう、会員を増強して収入を増やす、運営方法に知恵を絞って経費の節減に取り組むなどの計画を練るとともに、今後長期にわたって安定した事業運営を行っていくための財務構造改革の準備を開始しました。

令和8年5月

公益社団法人羽村市シルバー人材センター
会 長 関 谷 達 夫

2 事業実績

(1) 会員の異動状況

単位：人

区分	令和 6 年度末 会員数	令和 7 年度				令和 7 年度末 会員数
		入会者	退会者	年度内増減		
男性	373	43	44	△ 1	△ 0. 3%	372
女性	207	33	23	10	4. 8%	217
計	580	76	67	9	1. 6%	589

(2) 事業実績

①受託事業（請負）

項 目	実 績	前 年 度 比
受 託 件 数	3,874 件 (公共 476 件 民間 3,398 件)	△280 件 △6.7%
契 約 金	212,208,405 円	△471,590 円 △0.2%
	公共 75,258,707 円 民間 136,949,698 円	
配 分 金	193,675,581 円	758,141 円 0.4%
就業延実人員	16,115 人	△60 人 △0.4%
就業延日人員	62,422 人	△326 人 △0.5%
公 民 比	35.5 : 64.5	公共△1.4pt 民間 1.4pt
就業実人員	490 人	1 人 0.2%
就 業 率	83.2%	△1.1 ポイント

②労働者派遣事業

項 目	実 績	前 年 度 比
受 託 件 数	2 件 (公共 1 件 民間 1 件)	0 件 0%
契 約 金	27,636,097 円	1,306,939 円 5.0%
	公共 26,663,887 円 民間 972,210 円	
賃 金	20,923,382 円	901,698 円 4.5%
就業延実人員	246 人	1 人 0.4%
就業延日人員	2,518 人	△14 人 △0.6%
公 民 比	96.5 : 3.5	公共△0.2pt 民間 0.2pt
就業実人員	24 人	1 人 4.3%
就 業 率	4.1%	0.1 ポイント

3 事業の実施状況

※事業名欄

(新規)：中期計画に掲げた事業で、当該年度に新たに記載した事業

(追加)：中期計画に掲載はなく、当該年度に新たに追加した事業

(再掲)：それ以前に掲載されている事業

I 会員の増強

「シルバーだよりはむら」やポスター、チラシなどによりWeb入会の推進を図りました。また、会員増強に向けて、「シルバー人材センター」に入会した効果や会員となった際のメリットを具体的に発信し、会員の増強に努めました。

(1) センターPRの強化

事業名	実施結果	備考
① 会員増強策の検討（新規） 【総務部会】	対象とする職種を限定し、当該分野に特化した会員募集チラシを作成及び全戸配布する計画について検討を行った。	会員増強策の検討を行った。
② 新規会員獲得のための継続的な活動 【総務部会】	新規入会キャンペーンとして、令和7年9月～12月まで「一人一会員入会運動」を実施した。入会者1名	会員数の増強を図った。
③ Web入会の推進 【広報部会】	シルバーだよりはむら、ホームページ、会員募集及び仕事募集チラシでPRを行った。 申込数17件 入会者11名	ホームページからの入会を推進し、会員数の増強を図った。
④ 『シルバーだよりはむら』の発行、会員募集チラシのポスティング 【広報部会】	『シルバーだよりはむら』 会員・発注者向け…5月、10月 市内全戸配布…8月、1月	会員及び市民に配布し、会員への情報の提供やシルバー人材センター事業の活動状況を広く周知した。
⑤ 市高齢者施策を通じたPRの依頼（市広報等への掲載依頼） 【広報部会】	市広報等に入会説明会や各種講習会及び各種教室のお知らせを掲載した。（掲載延回数21回） 羽村駅・小作駅に「会員・仕事募集チラシ」を掲示した。	シルバー人材センター事業のPRを行った。

事業名	実施結果	備考
⑥ 女性をターゲットにしたPR 【女性部会】	・シルバーだよりはむら（8月号）で「女性会員募集」の記事を掲載した。 ・小作駅・羽村駅掲示板に女性会員募集ポスターを掲示した。（8月～11月） ・羽村市高齢者クラブ連合会理事会時に女性会員募集チラシを配布した。（9/5 28団体2部ずつ） ・女性限定入会説明会を実施した。（9/10・10/1） 出席者7名のうち入会者6名	シルバー女性会員の魅力度を一般市民へ浸透させ、シルバーの認知度をより高め、女性会員数の増強を図った。

（2）入会説明会の充実

事業名	実施結果	備考
① 入会説明会の充実 【事業部会】	毎月1回15日（基準日）実施 出席者59名	入会の促進を図った。
② Web入会の推進 【広報部会】	((1)センターPRの強化③の再掲)	

Ⅱ 事業実績の拡大

新たな顧客ニーズの把握や多様化する会員の就業ニーズに対応するための就業機会の確保に努めました。人手不足分野に注力した会員募集や研修を行い、地域の需要に応じていく体制を整備するなど、事業実績の拡大を実現するために、次の事業を推進しました。

Ⅱ－i 就業の促進

未就業会員等に意向調査を実施し、適宜、就業情報の提供や就業相談を行いました。また、人手不足分野に注力した会員募集や研修を行い、地域の需要に応じていく体制を整備しました。

（1）就業の促進

事業名	実施結果	備考
① 未就業会員・短期就業等会員に対する意向調査の実施 【総務部会】	未就業会員・短期就業等会員に対する意向調査を実施した。（11月）	未就業会員等の意向を把握し、就業開拓・退会防止に役立った。

事業名	実施結果	備考
② 人手不足分野の人員確保による就業拡大 【総務部会】 【事業部会】	人手不足分野の講習会を実施した。 ・植木剪定講習会 2月27日開催 参加者3名 うち就業者数2名	人手不足分野の人員供給体制を確保し、就業の拡大を図った。
③ 技能講習会の実施 【総務部会】 【事業部会】	除草班による低木剪定作業に対応するため、植木班の現場で見学・技術習得の機会を設けた。	
④ 就業基準の徹底 【事業部会】	継続就業希望会員へ就業期間満了先一覧を、年4回配布し、就業に繋げた。 ・就業決定会員 38名	就業基準を徹底し、長期就業の是正と未就業会員の解消を図った。
⑤ 財団主催の各種講習会情報を提供 【事業部会】	新入会員研修会や事務局だより等で、財団が実施する「就業支援講習」について周知した。	会員の技能の向上を図った。
⑥ ビジネスマナー研修 【事業部会】	新入会員に財団作成の「接遇マニュアル」を配布した。また、会員のビジネスマナー向上に資するため、成功・失敗事例を会員から収集した。	新入会員研修会において、ビジネスマナー研修の映像（DVD）を上映した。
⑦ 新入会員研修 【事業部会】	毎月1回（原則理事会翌日）開催 出席者64名	センターの事業趣旨、会員の心得、ボランティア活動等についての研修を行った。
⑧ 会員のメールアドレスに就業情報を送信するシステムの活用 【広報部会】	会員専用ページ「Smile to Smile」に就業情報を掲載し、未就業会員の解消に努めた。	登録者数352名
⑨ 会員の意向に沿った就業情報の提供 【総務部会】	「未就業会員等意向調査」に基づき、就業希望意向のある会員へ就業情報を提供し、就業に繋げた。	
⑩ 就業相談の充実 【事務局】	毎月1回1日（理事会の翌日）実施 相談者19名	「事務局だより」に開催日時を掲載した。

事業名	実施結果	備考
⑪ HPでのタイムリーな就業情報の提供 【事務局】	会員専用ページ「Smile to Smile」に就業情報を掲載したほか、新入会員研修会で、「Smile to Smile」の紹介と登録推進を働きかけた。	タイムリーな就業情報の提供を推進した。

Ⅱ－ⅱ 仕事の開拓と維持

既受注事業を維持していくための対策や、会員の意向を適切に把握し、新たな就業分野・新規取引先の開拓について検討しました。また、今後需要が増加していくことが見込まれる、福祉・家事援助、生活支援、介護支援、空き家管理サービスなど地域に密着したサービスの就業開拓を行いました。

(1) 仕事の開拓と維持

事業名	実施結果	備考
① 新規発注者対象のアンケートの検討（追加） 【事業部会】	7月請求分から新規登録発注者へアンケートの送付を開始した。	新規のお客様を継続利用につなげ、固定客化を図った。
② 市高齢者施策を通じたPRの依頼（市広報等への掲載依頼） 【広報部会】	（I会員の増強①）センターPRの強化⑤の再掲	
③ 『シルバーだよりはむら』の発行、会員募集チラシのポスティング 【広報部会】	（I会員の増強①）センターPRの強化④の再掲	
④ 「Web受注システム」のPRの推進 【広報部会】	実績 52 件	ホームページを活用した受注の拡大を図った。
⑤ ハローワークとの連携 【事務局】	センターパンフレットを配架依頼した。	今後、必要に応じて情報交換を行っていく。
⑥ 就業開拓員の配置 【事務局】	就業開拓員 1 名を事務局に配置した。	
⑦ 地域に密着した家事援助、子育て支援、介護支援分野の仕事の開拓 【事務局】	家事援助サービスリーフレット（R1.10月作成）の内容が、現状の事業実態と合っていないことから、新リーフレットを作成した後、事業PRを行うこととした。	

事業名	実施結果	備考
⑧ 新規受注先の就業開拓 【事業部会】	【羽村高齢者クラブ連合会】 実施なし 【保育園】 市内 13 園が実施する「保育展」で、PR スペースを設置していただき、「布団カバー」作製等の PR を行った。(11/19～11/22) 【空き家管理サービス】 市空き家対策担当係へ空き家所有者への通知にシルバーの「空き家管理サービス」PR チラシの同封を依頼した。(10/27) 【町内会・自治会】 羽村市地域振興課を通じて、町内会・自治会向けに以下のサービスの PR を行った。 ・夏祭りや盆踊り等のイベント時の設営及び片付け ・包丁研ぎ ・懇親会準備と片付け ・襖、障子の張替え 等 【その他】 フレッシュランド西多摩「よつばの湯」の館内売店に、手芸・編物品を設置販売してもらえよう羽村市産業課担当者に働きかけ、令和 8 年 2 月より展示販売することになった。	新規受注先の就業開拓を行った。
⑨ 家事援助班活動の推進 【事務局】	就業経験の浅い家事援助事業会員を対象に技術維持向上を目的とした映像（DVD）を試作した。	家事援助サービス就業会員の技術向上を図り、お客様の満足度向上に努めます。
⑩ 会員コーディネーターの設置 【事務局】	4 月から 12 月までは 2 名体制、1 月から 3 月までは 1 名体制で設置した。	福祉・家事援助サービス事業の推進を図った。
⑪ 事業量に応じた羽村市介護予防・日常生活支援総合事業（家事サポートサービス）の体制整備の確保 【事務局】	事務局日より（12 月号）で市主催「家事サポーター養成研修」を周知し受講者を募集した。 参加者 1 名	生活支援サービス就業会員の育成を図った。
⑫ 家事援助就業会員の増強 【事務局】	シルバーだよりはむら（8 月号全戸配布）に、家事援助就業会員募集の記事を掲載した。	家事援助サービスの事業量に応じた会員の確保に努めた。

事業名	実施結果	備考
⑬ 苦情等の共有 【事務局】	該当する苦情等は無かった。	会員へ周知する必要がある苦情等があった場合は、必要に応じて事務局だよりに掲載し、会員へ周知し、再発防止を図ります。
⑭ 会員の作業の質の維持・向上を図るための作業マニュアルの充実 【事業部会】	前任者からスムーズに作業を引継ぎ、作業の質を維持できるよう、新規継続就業先を中心に作業マニュアルを整備した。	整備した作業マニュアルを活用し、前任者からのスムーズな引継ぎに役立てた。 お客様の満足度の向上を図った。
⑮ リサイクルショップ「トコトン工房」の充実 【事務局】	販売点数 2,470 点 (R6 2,793 点) 売上金 1,565,000 円 (R6 1,758,800 円)	羽村市リサイクルセンター内でリサイクル品の販売を行った。 【販売日】平日、第一日曜日 【販売時間】10:00～16:00

Ⅱ－Ⅲ 自主事業

会員の持つ知識や経験を活かした自主事業を実施しました。

「シルバーだよりはむら」や「事務局だより」を通じて、各種教室のPRを強化しました。スマートフォン教室については、デジタル格差の解消に向け、より一層推進しました。

(1) 自主事業

事業名	実施結果	備考
① スマートフォン教室 【事業部会】	国の補助事業は、対象外となったが、財団から委託を受け、未登録会員を対象に、10月～12月に「Smile to Smile 登録研修」を計16回実施した。	会員のデジタル格差の解消に努めた。
② パソコン教室等の各種教室のPRの強化 【広報部会】	シルバーだよりはむら(8月号全戸配布)、広報はむら、ホームページ等で事業PRを行った。	センターHP等に各種教室の紹介記事を掲載し、受講者増加のためのPRを行った。
③ パソコン教室 【事務局】	受講者 延127名 (R6 延131名)	市広報や「シルバーだよりはむら」やホームページ等で事業PRを行い、受講者を募集した。
④ 生花教室 【事務局】	受講者 延112名 (R6 延109名)	市広報や「シルバーだよりはむら」やホームページ等で事業PRを行い、受講者を募集した。
⑤ 学習教室 【事務局】	受講者 延0名 (R6 延0名)	市広報や「シルバーだよりはむら」やホームページ等で事業PRを行い、受講者を募集した。

事業名	実施結果	備考
⑥ 着付け教室 【事務局】	受講者 延 60 名 (R6 延 64 名)	市広報や「シルバーだよりはむら」やホームページ等で事業PRを行い、受講者を募集した。
⑦ 中級英会話教室 【事務局】	受講者 延 93 名 (R6 延 183 名)	市広報や「シルバーだよりはむら」やホームページ等で事業PRを行い、受講者を募集した。
⑧ 初心者向けスマートフォン教室（新規） 【事務局】	受講者 延 1 名	市広報や「シルバーだよりはむら」やホームページ等で事業PRを行い、受講者を募集した。

Ⅲ 安全・適正就業の確立

安全・適正就業に関しては、安全・適正就業推進委員会が中心となり、「安全はすべてに優先する」とした基本理念のもとに、毎年度、「安全対策・適正就業基本計画」を策定し、会員の健康維持及び就業上の安全・適正就業を推進しました。

(1) 安全管理体制

事業名	実施結果	備考
① 安全・適正就業推進委員会の開催 【安全・適正就業推進委員会】	5 月 22 日、7 月 17 日、9 月 18 日、12 月 1 日、1 月 20 日 年 5 回開催	安全就業の方針の検討や対策、適正就業について協議した。
② 財団等の安全対策会議との連携 【安全・適正就業推進委員会】	財団発行の熱中症予防等の注意チラシを全会員に配布した。	東京しごと財団との安全対策の連携を図った。
③ 安全対策・適正就業基本計画の策定 【安全・適正就業推進委員会】	安全・適正就業推進委員会において、検討を行い策定した。	安全・適正就業の推進を図った。

(2) 事故防止措置

事業名	実施結果	備考
① 「安全就業基準」「安全 10 ヶ条+1」「交通ルール遵守」の周知・徹底 【安全・適正就業推進委員会】	新入会員研修会において、安全就業基準（会員のしおり）を配布するとともに安全・適正就業巡回で周知・徹底を図った。また、事務局だよりで自転車交通安全に関する記事等を掲載したほか、「安全 10 ヶ条+1」等注意喚起チラシを配分金明細書等に同封して配布した。(6 月)	会員への「安全就業基準」の遵守の徹底を図った。

事業名	実施結果	備考
② 作業前ミーティングの実施 【安全・適正就業推進委員会】	植木班や除草班等作業前にミーティングを実施した。	就業会員同士で注意喚起を行い、事故防止の徹底を図った。
③ 安全防護具の励行 【安全・適正就業推進委員会】	安全・適正就業巡回時に安全防護具着用の確認を行った。	ヘルメット・ゴーグル・チャップス等、安全防護具等着用の徹底を図った。
④ 作業用機械器具点検表と廃棄基準を用いた一斉点検の実施及び管理 【安全・適正就業推進委員会】	作業用機械器具点検表と廃棄基準を用いて、一斉点検を行った。(7月・1月)	刈払機、チェーンソー、梯子・脚立、安全帯、ヘルメットの作業用器具を適切に使用できるよう、点検・整備及び管理に努めた。
⑤ 就業途上における交通事故防止の徹底 【安全・適正就業推進委員会】	事務局だよりで、自転車ヘルメット着用推奨等を掲載したほか、東京都警視庁作成の「ルール・マナーを守りましょう」等注意喚起チラシを配分金明細書等に同封して配布した。	事故情報を提供して会員の就業途上の交通事故防止の啓発を行った。
⑥ 事故の検証及び全会員へのフィードバック 【安全・適正就業推進委員会】	再発防止を図るため、事務局だよりで事故情報を周知した。	事故情報及び安全就業基準との関連・原因を会員で共有化することにより、再発の防止を図った。
⑦ 委員会による自転車安全点検の促進 【安全・適正就業推進委員会】	自転車交通安全講習会(11/7)にて自転車点検のチラシを配布した。	自転車事故防止の徹底を図った。
⑧ SOSカードの配布・携帯の徹底 【安全・適正就業推進委員会】	新入会員研修会時にSOSカードを配布し、安全・適正就業巡回等で周知及び携帯の徹底を図った。	就業中や就業途上での事故や病気の際の迅速な対応に繋げるとともに、作業前の点検事項や就業前に自身の体調を把握し、事故の未然防止及び健康意識の増進を図った。
⑨ 作業別安全就業基準の徹底 【安全・適正就業推進委員会】	新入会研修会において、会員のしおりを配布するとともに安全・適正就業巡回で周知した。	就業会員に周知し、安全就業の徹底を図った。
⑩ 運転業務に関する安全就業基準の徹底 【安全・適正就業推進委員会】	車両運転者に対し、運転前の健康状態の確認、アルコールチェックを行った。また、事務局だより(8月号・2月号)にて、市主催交通安全講習会への参加を奨励した。	車両運転を伴う作業を行う会員に対し、安全運転の推進を図った。

事業名	実施結果	備考
⑪ 受注及び契約時における就業現場の安全確認 【安全・適正就業推進委員会】	就業会員や担当職員が新規就業契約時及び契約内容変更時に確認を行った。	就業現場に潜む危険個所を事前に確認することで、事故を防ぎ、危険を伴う可能性が高い作業については受注しないよう努めた。
⑫ 作業の受注量制限や休業日・予備日の設定の検討 【安全・適正就業推進委員会】	熱中症対策として、最高気温35度以上・暑さ指数31度以上で作業を中止するとともに、8月の作業は原則午前中のみとした（植木班・除草班）。また、植木班・除草班に熱中症計を配布した。	過剰な受注による就業で、会員の体調管理が困難になることを防いだ。

(3) 安全教育

事業名	実施結果	備考
① 刈払機の取扱い講習会等へ参加促進 【安全・適正就業推進委員会】	参加希望者はいなかった。	
② チェーンソー・バリカン等の正しい使い方講習会等への参加促進 【安全・適正就業推進委員会】	参加希望者はいなかった。	
③ 就業支援講習（植木）への参加促進 【安全・適正就業推進委員会】	参加者1名（9月）	会員の技術向上及び安全就業を学び事故防止を図った。

(4) 安全意識の普及啓発

事業名	実施結果	備考
① 安全標語の募集 【安全・適正就業推進委員会】	安全標語を募集した。（11月）応募人数20人 応募数38件	優秀作品を毎月の安全目標に設定し、センター内に掲示するとともに、事務局だよりに掲載し、安全就業の啓発に努めた。
② ヒヤリハット体験の募集 【安全・適正就業推進委員会】	ヒヤリハット体験を募集した。（5月）報告件数3件	事務局だより（8月号）に掲載し、危険個所の情報を共有して事故の未然防止を図った。
③ 安全就業強化月間（7月）における実施内容の検討 【安全・適正就業推進委員会】	委員会において、取り組み内容の検討を行い、7月の強化月間で反映した。	事故ゼロを目指すとともに、強化月間中における会員の安全意識の高揚を図った。
④ 安全就業強化週間の設定 【安全・適正就業推進委員会】	毎月1日～7日を安全就業強化週間とし立看板を掲出した。	会員同士の安全意識の高揚を図った。

事業名	実施結果	備考
⑤ 「安全宣言」の実施 【安全・適正就業推進委員会】	安全就業強化月間に実施した朝礼で、「安全宣言」を唱和した。 7月1日 参加者24名	会員同士の安全意識の高揚を図った。
⑥ 各種講習会の開催等 【安全・適正就業推進委員会】	・熱中症対策講習会 6月19日 参加者20名 ・自転車交通安全講習会 11月7日 参加者18名	各種安全講習会を開催し、安全意識の高揚を図った。
⑦ 安全・適正就業巡回 【安全・適正就業推進委員会】	4月17日、6月3日、7月28日、8月28日、9月25日、10月27日、11月6日、12月22日、1月14日、2月18日 実施	就業現場を巡回し、安全意識の啓発と適正就業の点検を行った。
⑧ 安全就業に関する情報の提供 【安全・適正就業推進委員会】	事務局だより等を活用し周知した。	会員に安全・適正就業の情報を提供し、意識の徹底を図った。
⑨ 自転車損害賠償保険への加入状況の確認及び制度の周知徹底 【安全・適正就業推進委員会】	・新入会員に対し入会時に自転車保険加入義務の説明・周知をした。 ・派遣就業会員に対して自転車保険加入状況の確認を行った。	自転車損害保険等の加入義務化に伴い、制度の周知徹底を図った。

(5) 会員の健康管理

事業名	実施結果	備考
① 市が実施する体力測定の参加奨励 【安全・適正就業推進委員会】	事務局だよりで、市主催「体力測定と運動講座」(5月・7月・11月・1月号)を紹介した。	身体機能の低下を自覚し、事故の未然防止を図った。
② 市が実施する健康診断の参加奨励 【安全・適正就業推進委員会】	事務局だよりで、「特定健診」(6月号)、「知っておきたい唾液パワー口腔ケアで若返り」(10月号)、「体組成測定会」(1月号)の周知を行った。	自主的な健康診断の受診を奨励して、健康意識の増進を図った。
③ 健康づくり講座参加への奨励 【安全・適正就業推進委員会】	事務局だよりやセンターロビー掲示板で、市などで実施する健康管理講座などへの参加を奨励した。	
④ ラジオ体操の実施 【安全・適正就業推進委員会】	センター中庭において、植木班等で実施した。(午前7:45～)	転倒予防や健康増進、体力低下を防止した。

(6) 適正就業の推進

事業名	実施結果	備考
① 会員、発注者に対し、適正就業ガイドラインの周知 【安全・適正就業推進委員会】 【事務局】	「適正就業ガイドライン」を新規発注者や入会説明会で配布し、適正就業の理解を求め、適正就業を推進した。	会員・発注者へ適正就業の理解を求め、適正就業を推進した。
② 安全・適正就業巡回 【安全・適正就業推進委員会】	((4)安全意識の普及啓発⑦の再掲)	
③ 適正就業ガイドラインに沿った事業運営 【事務局】	「適正就業ガイドライン」に沿って、就業形態（請負・派遣）や、月あたりの就業日数及び就業時間を考慮し、事業運営を行った。	適正就業ガイドラインを遵守し、適正就業を推進した。

(7) 安全強化月間（7月）の取組

事業名	実施結果	備考
① 安全・適正就業推進委員会の開催 【安全・適正就業推進委員会】	((1)安全管理体制①の再掲)	
② 作業用機械器具点検表と廃棄基準を用いた一斉点検の実施及び管理 【安全・適正就業推進委員会】	((2)事故防止措置④の再掲)	
③ 安全標語の募集 【安全・適正就業推進委員会】	((4)安全意識の普及啓発①の再掲)	
④ 安全就業強化月間（7月）における実施内容の検討 【安全・適正就業推進委員会】	((4)安全意識の普及啓発③の再掲)	
⑤ 「安全宣言」の実施 【安全・適正就業推進委員会】	((4)安全意識の普及啓発⑤の再掲)	
⑥ 安全就業に関する情報の提供 【安全・適正就業推進委員会】	((4)安全意識の普及啓発⑧の再掲)	

Ⅳ センターの活動の可視化（働く姿の見える化）

現在約 500 名の会員が市内のいたるところで多様な仕事をしており、ボランティア活動も継続的に実施しています。各地域における会員の様々な活動を、市民の皆さんにより一層認識していただけるよう、センター活動の可視化（見える化）を図り、「シルバー」の認知度を上げ、会員の増強や新規受注の獲得を目指しました。

（１）働く姿の見える化

事業名	実施結果	備考
① 『シルバーだよりはむら』の発行、会員募集チラシのポスティング 【広報部会】	(Ⅰ会員の増強①)センターPRの強化④の再掲)	
② 『シルバー人材センター』のイメージアップ活動 【広報部会】	シルバーだよりはむらやホームページ等で、ボランティア活動、各種教室、サークル活動等、仕事以外の活動についてPRを行った。	仕事以外の活動を含めピックアップしてPRした。
③ 東京しごと財団が行う「広報活動強調月間」に併せたPR活動の実施 【広報部会】	・シルバーはむらふれあい祭り 10月11日実施 参加者 473名 ・シルバー人材センターオンライン写真展出展(10月、東京しごとセンター)	『羽村市シルバー人材センター』の認知度を高め、会員増強に繋げた。
④ 市などが主催するイベント等への参加 【広報部会】	・「はむら花と水のまつり2025」3月22日～4月15日出店 ・「はむら市民と産業のまつり2025」11月1日、11月2日出展 ・東京しごと財団主催 東京ドームシティ プリズムホールで行われた「Tokyo シルバー50周年フェス」に手芸班が出展し、PRと手芸品の展示販売を行った(10/23) ・東京しごと財団主催「これからシルバー応援フェスタ」をゆとりぎ小ホールで開催し入会者募集を行った。(12/10) 入会者4名	シルバー人材センター事業の紹介やPR活動を行いつつ、就業開拓や会員の入会の促進を図った。

事業名	実施結果	備考
⑤ シルバー会員のアイデンティティの確立 【広報部会】	会員相互の認識向上及び組織としての一体感の醸成、並びにシルバー人材センターのイメージ向上を目的として、就業時の名札着用について事務局日より(12月号)に掲載し、周知・呼びかけを行った。統一された名札の着用により、外部からの識別性を高めるとともに、会員の帰属意識向上を図った。あわせて、センターの認知度向上のため、「作業中」看板及び車両用「会員募集」ステッカーの作成を検討した。	シルバー人材センターのブランドイメージを向上させ、就業している会員のアイデンティティを高めるため、次年度以降も引き続き検討する。 ※アイデンティティとは、「自分自身がセンターの会員であるという認識」のこと。
⑥ PRチラシの配布、ポスティング 【広報部会】	・「はむら花と水のまつり2025」や「はむら市民と産業のまつり2025」において、会員・仕事募集依頼のチラシを配布した。 ・シルバーだよりはむらにパソコン教室やスマホ教室等各種教室の開講記事を掲載しPRを行った。	「シルバー」の認知度を上げ、新規受注の獲得を図った。
⑦ 手芸講習会（手芸班） 【手芸班】	・「手のひらサイズの草履型ポーチ」作り 7月7日開催 参加者5名 ・「干支(午)の置物づくり(福うま)」作り 12月22日開催 参加者10名 ・「おひな様作り」作り 2月2日開催 参加者9名	手芸講習会の開催を通じて、手芸品販売促進と手芸班会員の増強を図った。

V 財源の確保

補助金の確保、自主財源確保のための受注拡大、業務の効率化、経費節減による安定した財政運営を推進しました。

事業名	実施結果	備考
① 国、都、市への補助金獲得のための要望 【事務局】	国・都・市へ補助金の申請を行った。	安定した財政運営を推進するため、各種補助金の拡充及び継続を要望した。
② 自主財源確保のための受注の拡大、業務の効率化、経費節減による安定した財政運営の推進 【事務局】	節電の実施、内部印刷の推進や自動車リース契約の見直しを行い経費節減に努めた。	より一層の経費節減に努めた。

事業名	実施結果	備考
③ 派遣事業拡大によるサポート補助金及び事務委任手数料の確保 【事務局】	派遣事業実施に係る事務委任手数料収入を得た。	サポート補助金を最大限に活用し、事務委任手数料収入を確保した。

VI 組織の充実と会員活動の活性化

センターの理念である「自主・自立、共働・共助」を再認識し、発注者及び地域に貢献できる体制の確立に努めました。シルバー人材センターの組織を充実・強化し、会員が生きがいを持って楽しく健康的に活動できるよう取り組みました。

VI-i 組織の充実

理事会を中心に公益法人としての運営体制の充実に努めました。

(1) 組織の充実

事業名	実施結果	備考
① 会員の親睦、交流の推進 【総務部会】	シルバーはむらふれあい祭り（10/11）において、会員の参加を促進し、親睦・交流を図った。	各地域班の会員相互のつながりを深めた。
② サークル活動の支援（新設を含む。） 【総務部会】	サークル活動について、入会説明会の際に、サークル紹介及びPRを行った。	サークル活動の支援を行い、会員増強及び退会防止を図った。
③ 「シルバーはむらふれあい祭り」の実施 【総務部会】	10月11日実施 参加者 473名	市民・会員相互の交流を図るとともに、シルバー人材センター事業への理解とPRに努めた。
④ 会員参画の運営 【事業部会】	事務局だより（10月号）に提案箱設置中の記事を写真入りで掲載し、会員からの企画提案を募集した。（提案0件）	
⑤ 会員の携帯電話へのショートメッセージサービスの活用 【広報部会】	会員や役員に対する郵送通知のうち、一斉送信が可能な案件について、ショートメッセージサービスを活用した。	経費及び事務負担の軽減を図った。

事業名	実施結果	備考
⑥ 健康推進事業の推進 【女性部会】	・介護予防体操を実施した。また、センター近隣地区に参加者募集チラシを配布した。(2名入会 広報はむら 5/15号と同時配布) 〔毎週火曜日〕 46回実施 参加者延 386名 〔毎週金曜日〕 47回実施 参加者延 324名 ・健康マージャン教室を実施した。11/14、11/27、12/4、12/11(全4回) 参加者延 35名 ・市主催「口腔ケアで若返り講座」に参加した。 11月27日 参加者2名 ・「フレイル予防と低栄養を防ぐレシピのお知らせ」を全会員に配布した。(1月)	フレイル(虚弱)予防を推進し、健康寿命の延伸を図った。 ※フレイル(虚弱)とは、健常から要介護へ移行する中間の段階
⑦ 女性会員交流会の実施 【女性部会】	7月11日 参加者13名	参加会員をグループに分け、就業に関することを中心に活発な意見交換が行われ、女性会員の交流の場として役立てた。
⑧ ふれあい体験講座 【女性部会】	「おひな様作り」 2月2日 参加者9名	会員の文化活動の推進を図った。
⑨ 定時総会	令和7年6月26日開催 ゆとりぎ小ホール 出席者476名 出席率81% (出席者62名、委任状による代理出席及び議決権行使書提出者414名)	令和6年4月1日から令和7年3月31日までの計算書類等の承認の件について決議した。
⑩ 理事会	年13回開催	毎月理事会を開催し、センター運営や業務執行等について審議した。
⑪ 総務・事業・広報部会	随時開催	センターの事業運営を効果的に推進するため、各部会を開催した。
⑫ 女性部会	年5回開催	女性会員増強・就業拡大に関すること及び技能向上、文化活動に関すること等について検討した。

事業名	実施結果	備考
⑬ 安全・適正就業推進委員会の開催 【安全・適正就業推進委員会】	(Ⅲ安全・適正就業の確立(1)安全管理体制①の再掲)	
⑭ 中期計画推進委員会 【中期計画推進委員会】	年1回開催	第3次中期計画の進捗状況等について確認した。
⑮ 地域連絡員会議 【事務局】	年1回開催	定時総会資料の配布を依頼した。
⑯ 地域班長会議 【事務局】	年2回開催	事業運営の情報伝達や要望・意見交換を行った。
⑰ 地域班への支援 【事務局】	地域班助成金と通学児童見守りボランティア助成金を各地域班に交付した。(5月)	地域班活動を支援することにより、地域班活動の活性化を図った。
⑱ 班体制を含めた地域班のあり方の検討 【事務局】	地域班班長・副班長・地域連絡員の役割を明確化し、地域班活動の基礎となる班長・副班長体制が整っていない地域班へ体制を整備するよう要請した。	より機動的に柔軟に動ける地域班体制を推進した。
⑲ 職員の人材育成のための目標管理制度の実施 【事務局】	目標管理制度を実施した。	目標管理制度を活用し、人材育成を図った。
⑳ 研修会等への参加による職員の能力向上 【事務局】	財団主催の各職層研修及び専門研修を受講し、能力向上を図った。	職員の資質向上を図った。
㉑ 派遣事業拡大に伴う、産業医及び衛生管理者、安全衛生委員会の設置 【事務局】	派遣会員数20名のため未設置。 (派遣会員数50人以上で要設置)	派遣会員数が50名以上となった場合、設置する。
㉒ 「Smile to Smile」を利用した情報発信機能の充実 【事務局】	スマホやパソコンを活用した業務連絡等のデジタル技術を活用した業務の効率化を図るなどデジタル化の推進等に積極的に取り組んだ。	デジタル化を推進した。
㉓ インボイス制度導入への対応 【事務局】	インボイス制度導入に伴う発注者の負担増について、適切な説明を行った。	インボイス制度導入に伴い、発注者に理解が得られるよう対応した。

事業名	実施結果	備考
②④ フリーランス法施行に伴う制度の見直しへの対応 【事務局】	フリーランス法の施行に伴い、必要に応じて会員に対し就業条件の明示を行った。また、法の趣旨に沿い、羽村市との契約については令和7年4月1日から、民間事業所および家庭との契約については令和8年4月1日から、新たな契約関係（三者間の包括契約）へ移行するため、契約方法の見直しを行った。	契約方法等制度の見直しへ適切に対応した。

VI-ii 会員活動の活性化

多くの会員が積極的に班活動に参加できるよう地域班活動を支援しました。また、ボランティア活動を推進し、地域社会に貢献しました。

(1) 地域班の活性化

事業名	実施結果	備考
① 地域連絡員会議 【事務局】	(VI-i 組織の充実①)組織の充実⑮の再掲)	
② 地域班長会議 【事務局】	(VI-i 組織の充実①)組織の充実⑯の再掲)	
③ 地域班への支援 【事務局】	(VI-i 組織の充実①)組織の充実⑰の再掲)	
④ 班体制を含めた地域班のあり方の検討 【事務局】	(VI-i 組織の充実①)組織の充実⑱の再掲)	

(2) 社会奉仕の推進

事業名	実施結果	備考
① ボランティア活動の推進 【総務部会】	地域班長に対し、新規入会者のボランティア活動への参加希望情報の提供を行った。また、新入会員研修会の際に、活動のPRを行った。	ボランティア活動への参加促進を図った。
② 市内清掃ボランティア活動の実施 【総務部会】	第1回 6月12日実施 参加者 101名 第2回 11月21日実施 参加者 105名	会員による市内清掃ボランティアを行った。

事業名	実施結果	備考																					
③ 市事業等へのボランティア協力 【総務部会】	市の実施する「放課後子ども教室」ボランティア募集チラシを入会説明会の際に配布した。	「放課後子ども教室」へのボランティア登録を推進した。																					
④ 市内小学校通学児童見守りボランティア活動の実施 【総務部会】	会員による小学校通学児童見守りボランティア活動を地域班単位で行った。 (週1回～5回) 羽村東小学校・羽村西小学校・富士見小学校・栄小学校・小作台小学校	・各地域班の活動実績 <table> <tr> <th></th><th>実人員</th><th>延人員</th></tr> <tr> <td>1 班</td><td>18 名</td><td>368 名</td></tr> <tr> <td>2 班</td><td>12 名</td><td>266 名</td></tr> <tr> <td>3 班</td><td>6 名</td><td>268 名</td></tr> <tr> <td>4 班</td><td>12 名</td><td>796 名</td></tr> <tr> <td>5 班</td><td>15 名</td><td>132 名</td></tr> <tr> <td>6 班</td><td>5 名</td><td>63 名</td></tr> </table>		実人員	延人員	1 班	18 名	368 名	2 班	12 名	266 名	3 班	6 名	268 名	4 班	12 名	796 名	5 班	15 名	132 名	6 班	5 名	63 名
	実人員	延人員																					
1 班	18 名	368 名																					
2 班	12 名	266 名																					
3 班	6 名	268 名																					
4 班	12 名	796 名																					
5 班	15 名	132 名																					
6 班	5 名	63 名																					
⑤ 保育園訪問ボランティア活動の実施 【女性部会】	バルーンアート披露を希望する保育園がないため、放課後子ども教室「はむらっ子広場」での活動を検討した。																						
⑥ 「ほっとカフェ」の実施 【女性部会】	シルバーはむらふれあい祭り(10/11)において実施した。	市民や会員の交流促進を図った。																					